

平成21年度（平成21年4月～平成22年3月）
渡島管内訪日外国人宿泊者数調査

渡島総合振興局産業振興部商工労働観光課

「訪日外国人宿泊者数調査」について
本調査は、道が平成9年2月に制定した「訪日外国人観光客動態調査」の一調査として、各市町村の宿泊施設等における宿泊外国人の「国別宿泊実人数」及び「国別宿泊延べ人数」について、調査を実施しております。

○調査の目的

北海道を訪れる訪日外国人の実人数及び動態などを把握し、今後の観光振興施策を推進するための基礎資料としています。

○用語の定義

『訪日外国人』

日本以外の国に居住している者で、訪日の目的が報酬を得ることではない観光客。

『宿泊施設等』

旅館業法第2条の規定のうち、次の施設。

ただし、宿泊施設以外の船舶についても調査対象となります。

（宿泊施設等：ホテル・旅館・簡易宿泊所・その他）

1 概況

- (1) 平成21年度（4月～3月、以下同様）に管内を訪れた外国人の宿泊者数は144,211人で、実数にして81,586人の増加となっています。これは今調査より、大型宿泊施設より回答があったことによる大幅増であり、以下に示す対前年比は、この宿泊施設を除いた宿泊人数と前年度の宿泊人数を比べたものです。

[外国人宿泊者数] (単位：人・%)

	平成21年度	(今年度からの回答施設除く)	平成20年度	*1 増減人数	*2 対前年比
宿泊人数	144,211	69,525	62,625	81,586	111.0

- (2) 国（地域）別の宿泊者数を見てみると、平成20年度と同様に台湾が最も多く、次いで韓国、中国、香港、シンガポールの順となっており、依然として東アジア圏からの宿泊者が多数となっています。

平成21年度の特徴としては、中国が対前年比289.2%と大きく増加したことがあげられます。これは、中国の経済状況の回復や、訪日個人観光査証の受付開始によるものと考えられ、中国の一大旅行シーズンである国慶節休暇や旧正月を中心に増加しています。

[上位8カ国の宿泊者数] (単位：人・%)

順位	国名	平成21年度	(今年度からの回答施設除く)	平成20年度	*1 増減人数	*2 対前年比
1位	台湾	73,621	20,429	22,740	50,881	89.8
2位	韓国	31,102	16,377	12,109	18,993	135.2
3位	中国	10,846	9,336	3,228	7,618	289.2
4位	香港	9,698	6,965	5,650	4,048	123.3
5位	シンガポール	5,564	5,514	4,505	1,059	122.4
6位	マレーシア	3,191	1,192	689	2,502	173.0
7位	アメリカ	2,646	2,644	3,316	△ 670	79.7
8位	アジアその他	1,430	1,430	1,212	218	118.0
	その他の国(不明を除く)	4,352	3,877	3,697	655	104.9
	小計	142,450	67,764	57,146	85,304	118.6
	不明	1,761	1,761	5,479	△ 3,718	32.1
	合計	144,211	69,525	62,625	81,586	111.0

*1 増減人数 平成21年度外国人宿泊者数 － 平成20年度外国人宿泊者数

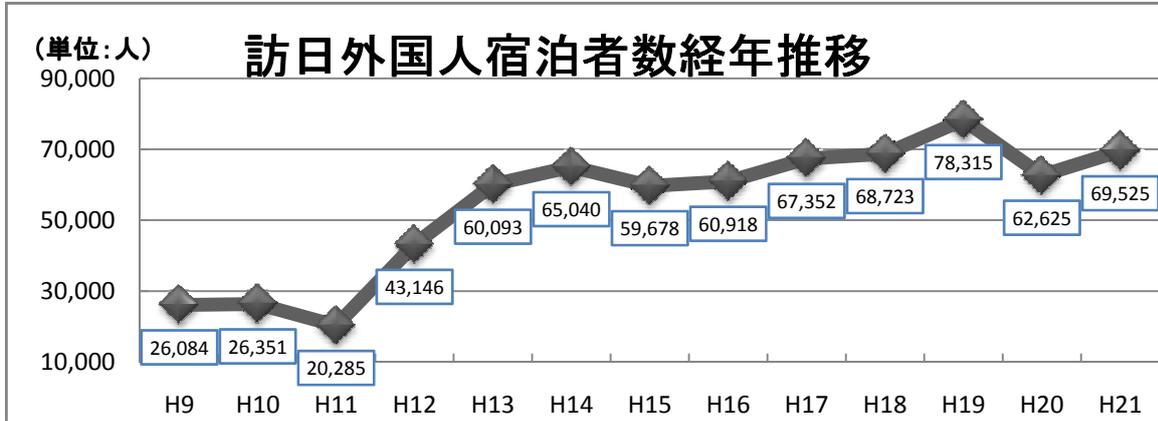
*2 対前年比 $\frac{\text{平成21年度（今年度からの回答施設除く）外国人宿泊者数}}{\text{平成20年度の外国人宿泊者数}}$

【参考資料】

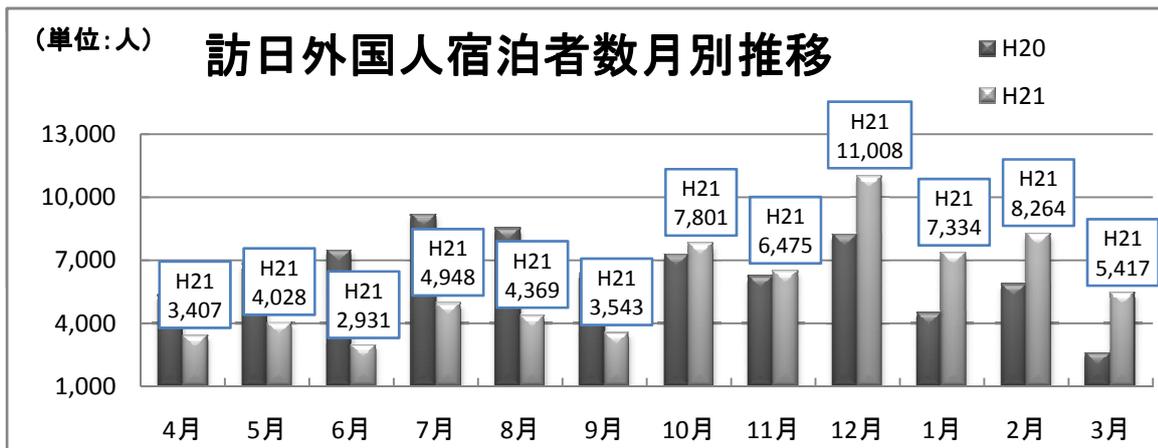
(H21の数値は今年度から回答のあった大型宿泊施設を除いたものです)

1 訪日外国人宿泊者数の推移（経年・月別）

(昨年と同基準による推移)

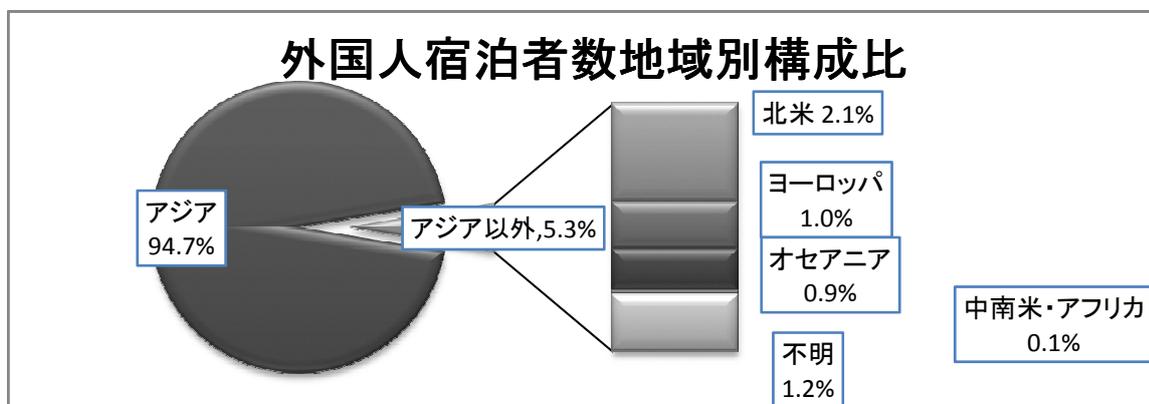


(昨年と同基準による推移)



(数値は回答のあった全ての宿泊施設の実数です)

2 訪日外国人宿泊者数地域別・国別構成比



3 国別宿泊者数・構成比

